

あなたがいるから、私が私でいられる
・・・答えが見つからないときほど周りを見てほしい・・・

第6組圓養寺 櫛田 昭裕

童謡詩人の金子みすゞさんの詩に曲をつけて、歌を伝える活動をされている
歌手のちひろという方がみえます。そのちひろさんに教えていただいた金子み
すゞさんの詩を紹介させていただきます。

「お日さん、雨さん」

ほこりのついた
芝草を
雨さん洗ってくれました。

洗ってぬれた
芝草を
お日さんほして
くれました。

こうして私が
ねころんで
空をみるのに
よいように。

(『金子みすゞ童謡全集』)

「お日さん」と「雨さん」は、対立項目です。対になっているから、理解しや
すい。雨の日も、お天気の日も、両方あるから居心地よく過ごせます。金子みすゞ

さんは、その両方に感謝しています。

「光と影」「明と暗」「見えるものと見えないもの」「きれいなものと汚いもの」

「できることとできないこと」「あなたと私」・・・・・・・・・・

対でそれぞれが守られています。偏らない心が真理の言葉に共鳴します。

相手を素直に見つめることで、自分中心にしか物事を見てこなかったことに気付かされます。相手を見つめることで自分が育っていきます。答えが見つからないときほど、自分から目をそらし、周りを見ましょう。あなたがいるから、私が私でいられる。バランス良く生きられます。

ブッダの真理の言葉だけをとりだし簡潔な詩の形に統一した、現存する最古の経典『ダンマパダ』も、対句で始まり対立項目からなっています。

他と比較し優劣をつけ、片一方に執着する私たちにとって、逆に対で表される真理の言葉はとても理解しやすいのです。

信仰深い家に生まれ、幼い頃よりお寺で真宗の教えに触れ育った金子みすゞさんも、私たちに対立項目の言葉で真理を伝えてくれています。